

## 夏休みのくらし

子どもたちが待ちに待った夏休みが、いよいよ始まります。夏休みを迎えるにあたって、これまでの子どもたちの成長やがんばりを家族で確かめ合い、夏休みへの期待をより大きいものにしてほしいと思います。

夏休みは子どもたちがいろいろな面で大きく成長するよい機会です。充実感、達成感、満足感に満ちた有意義な毎日過ごし、そして9月にはどの子も充実した笑顔で元気に登校できるよう、ご家庭でのご指導、ご支援をお願いします。

### 有意義な夏休みに

子どもの成長を考えて最高の思い出になるような夏休みに。

特別な行事を計画しなくても、去年と同じ事でも去年より子どもの出番を多くしたり、思い切って子どもに任せてみたりというふうに、子ども達にとって思い出に残る夏休みにはいかがでしょうか。工夫次第で子どもにとって昨年よりもさらに充実した夏休みになるのではないのでしょうか。



### 基本的な生活習慣を大切に

家族の一員としての家庭での子どもの役割や手伝いについて話し合ってください。

子どもたちが家事を担うことは、責任感や自立心、そして、自分が役立っているという気持ち(自己有用感)を育む上で大切なことです。「後かたづけをきちんと自分でする」など、小さなことから家事を手伝うことを習慣づけてみてはどうでしょうか。



早寝・早起きを心がけるようにしてください。

長期の休みになると、ついつい遅くまで起きていることがあります。そのことが、朝起きる時刻に影響したり、さらに寝る時刻が遅くなったりと悪循環に陥ったりします。9月からよいスタートが切れるように、生活リズムはくずさないように声かけ、支援をよろしくをお願いします。

### 事件・事故防止

出かけるときの子どもとの約束を決めておきましょう。

子どもだけで出かけるときは、**行き先、目的、帰る時刻、一緒に行動する友達、困ったときの親子の連絡方法**について確認してから出かけるようにしましょう。

商店やゲームセンターなどのお金がかかるようなところ、また校区外へは、子どもたちだけでは行かせないように支援をお願いします。

具体的な場面を想定して対処の仕方を話し合っておきましょう。

- ・知らない人に声をかけられたらどうするか。
- ・つれていかれそうになったらどうするか。



子どもと一緒に「こどもSOS」の場所を確認しておきましょう。

子どもの活動範囲の中のどこに「こどもSOS」の看板があるかを親子で確かめておいてください。また、危険箇所も再確認しておいてください。

友達の家遊びに行った時のマナーについて話し合ってください。

- ・午前中は学習時間なので遊びに行かない。
- ・大人の人がない家には入らない。
- ・子どもだけで友だちの家に泊まらない。

### 困ったことがあったら...

事故や病気、また何か相談事などありましたら、学校にご連絡ください。

下笠居小学校 (TEL 881-3011)

校区内でどこが危険か、親子でいっしょに確認してください。

歩行中であっても自転車に乗っていても、交通事故につながる最も危険な行為は飛び出しです。自転車は、1～3年生は保護者といっしょに、4～6年生は校区内で乗るように学校では指導しています。具体的な場所や場面を想定しながら家族で交通安全の約束を決めておいてください。

平成20年6月1日の道路交通法改正により、13歳以下の子どもが自転車に乗ったり、幼児用座席に幼児を乗せている場合に、ヘルメット着用の努力義務が保護者に課せられます。努力義務なので強制力はありませんが、子どもの安全を考えるなら着用させましょう(大人も)。

火の怖さ、火を扱うときの約束について話し合ってください。

きれいな花火も遊び方次第でとても怖いものになります。子どもだけで花火などの火を扱うことのないよう、家族でしっかりと話し合ってください。

池や川、海では、子どもだけで遊ばせないようにしてください。

子どもたちがどこでどのような遊びをしているかを把握しておくことも大切なことです。特に、海や川、池などの水辺では、絶対に子どもたちだけで遊ぶことのないようにお願いします。